　皆さんこんにちは。古賀市議会議長の奴間健司です。

　平成二十四年度古賀市遺族会総会の開催にあたり、議会を代表し、一言ごあいさつ申し上げます。

　小山初男会長をはじめ古賀市遺族会の皆様におかれましては、戦没者の霊を慰め守護するとともに、会員相互の親睦と福利厚生の途をはかり、永遠の平和を希求されておられます。あらためて心より敬意を表するとともに感謝申し上げます。

　終戦から六十七年の月日が経過しました。この戦争で日本では三百万人を越える人々が命を失いました。古賀市の戦没者芳名碑には３４９人のお名前が刻まれているとのことです。この会場に来る前に芳名碑を訪れ手を合わせてきました。犠牲になられた方々にあらためて、心からご冥福をお祈りします。

　また、最愛の肉親を失った悲しみに耐え、苦難を乗り越えてこられたご遺族の皆様に、深く敬意を表します。

　皆様のおかげで今日の平和な社会が構築されたということを決して忘れません。

　今日、北東アジアでは不安定な情勢が見られます。

　また、憲法改正論議が政治主導で進められ、国民世論も揺れています。

　こういう時こそ、戦争の悲惨な体験を風化させず、不戦の誓いを新たにしなければなりません。そして、アジア諸国の友好と平和を実現し、世界の恒久平和の確立に全力を尽くさねばならないと思います。戦争で犠牲になられた方々に応える私たちの責務であると確信しています。

　古賀市では、昭和六十年に非核恒久平和都市宣言を議会で可決し、平成二十一年には平和市長会議に加盟しました。二〇二〇年までに核兵器廃絶をめざすこの市長会議に加盟する都市は、５３００を越えました。

　市民レベルでは、「平和を考える市民の集い」や「原爆と人間展」、少年の船による知覧や沖縄での体験研修、修学旅行や隣保館での長崎訪問などが毎年取り組まれています。若い世代につなぐ取り組みが大切な課題となっています。

　古賀市は市制施行から１５年が経過し、昨年から、第４次総合振興計画がスタートしました。平和をすべての政策の基本に据え、地域経済の発展、住民福祉の向上を目指す取り組みを、議会も行政も着実に進めようとしています。

　古賀市議会十九人の議員は、平和な社会の確立と、希望あふれる豊かなまちづくりのために、全力を尽くすことをお誓いします。

　むすびに、古賀市遺族会の皆様のご健勝、ご多幸を心から祈念し、あいさつといたします。

２０１３年・平成２５年５月９日

古賀市議会　議長　奴　間　健　司